

「ふるさと群馬のたからもの」

文化財の絵コンクール 最優秀賞



子どもたちに、身近で優れた文化財の魅力に気づいてもらえるように、開催しています。

昔を語る石碑に関する羊太夫の伝説をモチーフに描きました。

「多胡碑」

高崎市立吉井小学校
6年 鈴木 里菜

ぐんま昆虫の森「虫の絵」

作品展 金賞

虫との出会いやふれあいを通して得た感動を、絵で表現することで、虫への興味をさらに深めてもらうため、開催しています。



「昆虫の森」でしか見られない珍しいチョウ（オオゴマダラ）の特徴を捉えて、見事に描きました。

「おおごまだら」桐生市立天沼小学校
5年 谷 光流

ピックアップ★



教育委員会が開催したポスターコンクールに応募のあった作品を紹介します。ここに載っていない入賞作品も、インターネット上でご覧になります。若きアーティストたちの作品を、ゆっくりご鑑賞ください。



子どものポスターギャラリー

<http://www.pref.gunma.jp/03/x0100384.html>

「いじめ防止」

ポスターコンクール 最優秀賞

ポスターの作成を通して、子どもたちのいじめを許さない意識や態度を育むことを目的に開催しています。

「一緒に笑い合える仲間がいる。」そんな楽しい学校の雰囲気をイメージして描きました。



「笑顔でつくる いじめのない学校」

伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校
2年 大谷 桃子

「学校給食ぐんまの日」

絵画コンクール 最優秀賞



食への関心を持ってもらうため、身近な「給食」をテーマにした絵を募集しました。

陰ながら自分たちの健康を祈ってくれている農家さんへの感謝を込めました。

「おいしい野菜をありがとう」
伊勢崎市立あずま南小学校
5年 高橋 愛翔

文化財ライブ러리

Vol. 3

強大な「古代ぐんま」の姿を現代に伝える

史跡

こうずけこくぶんじあと

上野国分寺跡

場所：高崎市東国分寺・引間町

～前橋市元総社町

時代：奈良・平安時代

「上野国（こうずけのくに）」と呼ばれていた古代群馬の仏教の中心地で、群馬県のほぼ中央に位置しています。現在は、復元された塔の土台などがあるのみで、当時の姿は残っていません。

「国分寺」と名の付くお寺は、全国各地にあります。聖武天皇（奈良の東大寺の大仏を造らせた人）が、仏教の力で国が安定することを願って、全国68ヶ国に一斉に建設を命じたためです。

国分寺の建設に関しては、各国に任されていたので、同じ「国分寺」でも、建物の大きさや配置は様々です。

上野国分寺も、地元の豪族の協力によって造られました。発掘調査や文献から、全国最大規模の七重塔が建てられていたことや、全国的にみても早い時期に完成したことが明らかになっており、「古代ぐんま」がいかに強大な力を持っていたかをうかがわせます。



上野国分寺跡の発掘状況



当時の上野国分寺（イメージ図）

掘るたびに新しい姿？

上野国分寺跡では、現在でも発掘調査が進められています。昨年度の調査では、ご本尊が安置されていた重要な建物である「金堂」が、100年間信じられていた位置とは違う場所で新しく発見されるなど、めざましい成果が上がっています。

新たに発見された金堂は、塔と東西に並ぶ位置にありました。多くの国分寺では、金堂が塔よりも奥まった位置にありますが、これは総国分寺である奈良の「東大寺」にならったためと考えられます。塔と金堂が並立する独特な建物配置は、上野国分寺が東大寺よりも前に造られたこと、それだけ早く着工できる資金や技術が「古

代ぐんま」にあったことを示しています。

このように、各地の国分寺を比較することで、当時の各国の状況を比較することができます。

今年度は、寺院の中心となる建物に注目した調査が行われました。お坊さんが生活していた「僧房」の跡が、予想されていた位置に見つからず、どこにあったのか？が、次年度の課題となっています。

上野国分寺跡の敷地内にあるガイダンス施設「上野国分寺館」では、現在の発掘の様子が分かるだけでなく、七重塔の模型を見たり、出土した瓦を手にとってみたりすることができます。